

インド初の貨物専用鉄道に熱処理レールを出荷開始

新日鐵住金株式会社(代表取締役社長 進藤孝生 以下、「当社」)は、インド デリー～ムンバイ間貨物専用鉄道 (Western Dedicated Freight Corridor、以下「DFC 西線」) 向けに熱処理レール (*1) を 12 万 6 千トン受注し、2014 年 6 月よりインドへの出荷を開始いたしました。

DFC 西線は、首都デリーから商業都市ムンバイの間、総延長約 1,500km の貨物専用鉄道を建設するインドの国家プロジェクトであると同時に、日印両政府が推進する「デリー～ムンバイ間産業大動脈 (DMIC) 構想 (*2)」の根幹をなす事業です。その最初の工区となるインド北部ハリアナ州レワリと西部グジャラート州イクバルガー間の約 626 km 部分について、昨年春に双日株式会社(インディア)がインドのラーセン&トゥブロー社 (Larsen & Toubro Ltd.) と共同でインド政府傘下のインド貨物専用鉄道公社 (DFCCIL) から軌道敷設工事(円借款案件)を受注し、今回、当社レールが採用されたものです。工事は 2013 年夏に着工し、完工は 2017 年夏の予定です。また、レールは 2016 年夏ごろまでに納入を完了する予定です。

本件は、円借款案件として、当社が DFCCIL に対し初期段階から熱処理レールのスペックインに取り組んできた案件です。当社のレールは耐摩耗性に優れ、レールの長寿命化に貢献できることや、寸法公差精度が高く、溶接・敷設時の作業性に優れており、こうした品質優位性等が評価され、今回の採用に至ったものと考えております。

当社は、今後も成長する海外需要の捕捉に努め、新興国におけるインフラ整備に貢献していきます。

(*1) 熱処理レール：圧延後に熱処理を施し、レール頭部の硬度を上げることにより、耐摩耗性を向上させたレール。

(*2) デリー～ムンバイ間産業大動脈 (DMIC) 構想：デリー・ムンバイ間の 6 州の工業団地や港湾を貨物専用鉄道・道路で結び付け、インド最大の産業ベルト地帯を作るといふ、日印共同の総合産業インフラ開発プロジェクト。

【受注の内容】

区 間：レワリ～イクバルガー間(約 626 km)

数 量：126,000 トン

納入時期：2014 年 6 月～2016 年夏ごろ (予定)



【インド～デリー間貨物専用鉄道路線図】

(お問い合わせ先) 総務部広報センター TEL: 03-6867-5807

以上